

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
恵那中央地区

平成24年3月

岐阜県恵那市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地区内居住人口	人	2,688	2,700	2,490	確定 見込み ●	×	あり なし ●	2,578	H24年2月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市全体の国勢調査人口はH12 57,274人、H22 53,718人で△6.6%であるが、地区内人口はH12 2,688人、H22 2,578人で△4.3%である。土地区画整理による住宅の増加が要因と考えられ、減少抑制効果は得られたと思われる。
指標2	メイン通りの歩行者数(2箇所、2日間の合計)	人	8,308	9,000	5,173	確定 見込み ●	×	あり なし ●	8,141	H22年12月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	大型ショッピングセンターの建て替えにより歩行者が増加したが、その一方で地方銀行の支店が同地区内の他の位置に移転したため歩行者が減少したと考えられるが、メイン通り周辺の地域活動が活発となっており、にぎわいの再生に効果があったと考えられる。
指標3	大崎土地区画整理事業区域内の住宅・事業所の数	件	151	200	197	確定 見込み ●	△	あり なし ●	203	H23年10月	○	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	大崎土地区画整理事業による道路網等の公共施設の整備・改善のほか、商業系店舗の立地などにより、地区内の住宅・店舗の立地が促進され、効果があらわれたと考えられる。
指標4	買物の利便性の満足度	点	0.59	1.00	0.10	確定 見込み ●	×	あり なし ●	0.19	H23年3月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市全域を対象としたほか、平成16年の合併により市域が拡大したこともあり、地区の整備の影響が反映されにくい状況となったが、従前値と同じ地区のフォローアップ時の数値は0.79であり、旧市部においては今回の事業を評価していると考えられる。
指標5						確定 見込み ●		あり なし ●		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	地区内人口1人当たりの商業用地面積	m ² /人	79.9		84.1	確定 見込み ●			95.4	H23年3月		<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	各種住宅基盤や図書館・公園などの整備により、地区の居住環境が向上し、商業系店舗の立地が促進された効果と考えられる。
その他の数値指標2	段差や道幅など歩道の安全性に対する満足度	点	-1.58		-1.46	確定 見込み ●			-1.6	H23年3月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	段差解消や歩道整備を実施した結果、満足度が向上したと思われるが、周辺部には未整備の道路もあるため、より効果を高めるためには未整備道路の整備が必要と考えられる。
その他の数値指標3	地区内の買物の利便性に対する満足度(大井町・長島町)	点	1.29		1.38	確定 見込み ●			1.64	H23年3月		<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	商業系店舗の立地など、地区内の土地の有効利用を図られたことが満足度の向上に繋がり、満足度はこのまま維持されると考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	魅力的な街並みや景観を活かした地域活動の推進	地域活動の実行組織である「大井町まちづくり協議会」は市からの補助金交付を受けて各種地域活動を展開している。中山道大井宿のれんアートコンテストや各種イベント開催を始め、月一回発行の「大井町まちづくりかわらばん」において各種イベントや情報提供を行った。	中山道大井宿のれんアートコンテストは恒例行事となり、毎回3千人強の投票がある。市外の観光客も投票している。駅前地区に旧中山道があり、商店街に少し活気が戻ってきた。	大井町まちづくり協議会が活発に活動することにより、恵那駅前地区の活性化及び観光客の来訪が増加するため、協働のまちづくりを実施することが必要である。
	整備された交流拠点の活用	恵那市中央図書館の図書館サポーターが「フンさんとクンさんだより」を発行し、各種イベントや読書に関する情報提供など積極的に行った。	情報発信により図書館の来館者数は平成20年度は201,098人、平成22年度には259,000人となり、毎年着実に増加している。	恵那中央地区への来訪者は着実に増加しており、各種イベントに訪れた参加者が他の店舗へ訪れることも考えられるため、今後も図書館サポーターと協力して情報発信を続けることが必要である。
	区画整理地区内を始めとする未利用地の有効活用	保留地の斡旋を積極的に行い、区画整理地区内の保留地は無くなった。	未利用地は所有者が明確な将来像を持っており、商業店舗の建築が始まったところもある。	個人の未利用地が若干あるが、宅地として分譲しているため、市への問合せがあったときには積極的に情報提供をする必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	歩行者の安全性の向上を図る	事後評価後も歩行者の安全性が向上する事業を実施した。	当地区の歩行者の安全性は向上したと思われる。	当地区以外においても歩行者の安全性を向上する必要がある。
	開発が進んでいる地区南部における土地利用と用途地域の整合	地区南部は第2種住居地区が広く、土地利用に関しては商業系店舗が多く建設された。土地区画整理による未利用地は少なく、検討した結果、用途地域の変更はしないこととなった。	第2種住居地区として今後も開発を推進することになった。	土地区画整理後の未利用地は所有者が明確な将来像を持っており、数年後には全てが利用される見込みのため、多くの来訪者でにぎあう町となる見込みである。
	地区南北の一体的な市街地の活性化	南部地区には大型商業店舗が開業し、集客力が高まったため、北部地区においては、恵那まちなか市実行委員会(商店街連合会、観光協会、商工会議所、市)を設立し、平成22年12月より年数回の「恵那まちなか市」を開催することになった。	南部地区の買い物客も恵那まちなか市に訪れるようになり、北部地区と南部地区の活性化及び北部地区に数千人が訪れるようになった。	「恵那まちなか市」を開催することが当地区の一体的な活性化につながることから、継続して開催することが必要である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
歩行者の安全性の向上を図るための歩道整備	大井町の一部が当地区であるが、地区に隣接する学校周辺の歩道整備を恵那東地区都市再生整備計画事業で進める。	平成24年度	早期の事業実施が必要である。
市中心部から各地域の主要集落までの移動時間の短縮	恵那市総合計画後期計画(平成23年度から平成27年度)の基本方針の中に、恵那中央地区のある市の中心部から主要集落までの移動時間30分以内を目標としているため事業の推進を図る。	平成27年度まで	幹線道路の整備が必要である。